

外壁を美しく保つために、以下の点にご留意ください。

■維持管理の目的

大気中には外壁材の表面基材の腐食の原因となるさまざまな要因が含まれています。自動車の排気ガス、工場からの排煙、海岸地帯の海塩粒子、凍結防止剤など、多種多様な要因があります。

近年、環境公害のひとつとして酸性雨問題があります。酸性度の強い水分との接触や付着水分の蒸発、濃縮により、表面塗膜の耐久性の低下やさびの発生に至る場合があります。

建築物の長寿命化を実現するためのひとつとして、外壁材の適切なメンテナンスが重要であり、外壁の性能を維持するために定期的な維持管理をお勧めします。

1. クリーニング

外壁を美しく保つために、年数回の水洗いをしてください。

アイジーヴァンド・アイジーサイディングはめっき鋼板の中でも耐久性に優れたガルバリウム鋼板を使用しております。しかし、汚染物質の長期の付着により、数年で表面にシミや白さび、黒さびが発生した例が報告されています。シミや白さび、黒さびが発生しても機能上の支障はありませんが、外観が損なわれるため表面塗装の塗り替えの時期が短くなります。但し、年間数回簡単に水洗いすることで、美しい外観を長期間保つことが可能です。




●クリーニング回数目安

海岸地帯 年 4 回	工業地帯 年 3 回	市街地 年 2 回	田園地帯 年 1 回
---------------	---------------	--------------	---------------

大気汚染の状況に応じて、さらに年間洗浄回数を増やすことをお勧めします。

●クリーニング方法

- ① 水洗いにより、塵や汚れを洗い落とし、柔らかいスポンジや布で十分に水洗いしてください。
- ② 水洗いで取れない汚れなどは、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使用し、最後に水洗いしてください。

 ご注意	◎強くこすったり、硬いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面にキズが付き腐食を招くおそれがあります。	 
	◎クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・褪色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。	
	◎シンナーなどの有機溶剤は塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。	
	◎中性洗剤を使用した後は、十分な水洗いを行い薬剤を洗い流してください。	
	◎洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。	

●クリーニングのポイント

塗膜の劣化や鋼板の腐食は、塵やほこり、酸性雨や酸性雪に含まれる自然からの汚染物質と、車や給湯器・暖房機などの排気・燃焼ガスによる汚染物質が、雨や水蒸気などにより外壁に滞留して進行します。よって、雨水が当たりにくく汚れや汚染物質が流れにくい部分や過度に汚れがひどい部分を重点的に洗浄すると効果的です。

重点洗浄箇所

- | | | |
|-----------|---------------|---------------------|
| ① 軒 | ② 庇の下 | ③ アルコーブなどの内部に入り込んだ所 |
| ④ 窓脇、窓下など | ⑤ フード、換気口などの下 | |

2. 日常点検

目視にて確認できる範囲で年1回程度を目安にお施主様ご自身で行ってください。

パネル本体の点検 …… キズ、へこみ、浮きなどが目視で点検してください。

付属品の点検 …… キズ、へこみ、浮きなどが目視で点検してください。

塗膜の点検 …… 塗装表面に白亜化(触ると白い粉が手に付く現象、チョーキング)、変色、さびなどが発生していないか目視で点検してください。

シーリングの点検 …… シーリングに剥離、亀裂などが発生していないか目視で点検してください。

地震や台風の後は随時外装材の点検を行ってください。

点検により気になる不具合を発見した場合は、早めに施工店にご相談の上、専門業者に依頼してください。

(メンテナンス費用はお施主様負担となります)

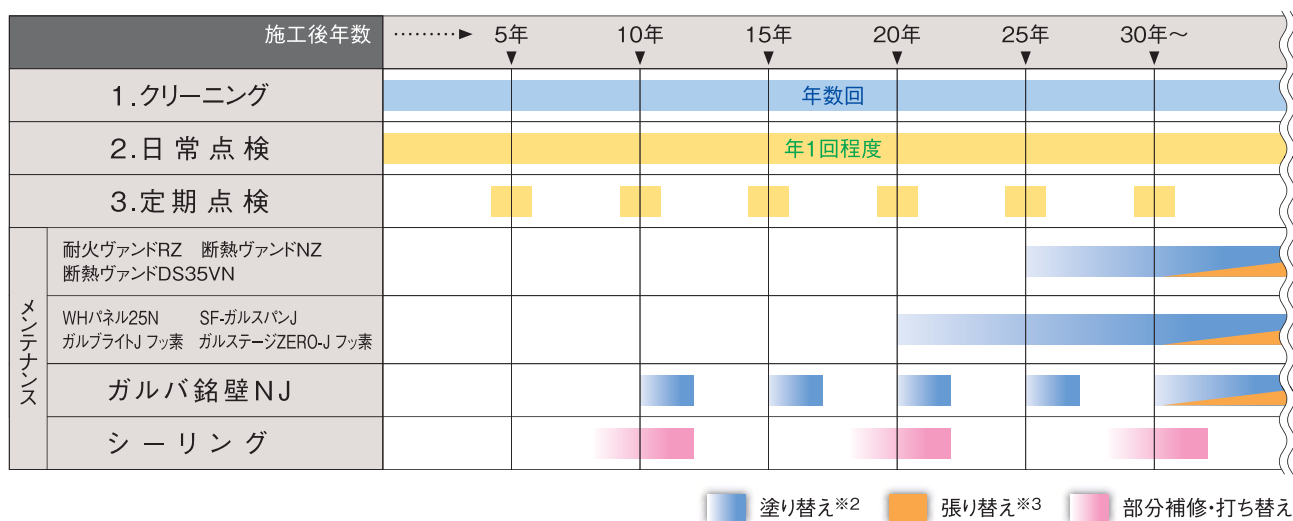
3. 定期点検

5年に1回を目安に専門業者による点検^{※1}を実施するようお願いします。(費用はお施主様負担となります。)

※1 点検項目は、日常点検の項目を基本としたものになります。

●メンテナンススケジュール(モデルケース)

こまめにお手入れをし、傷みを早めに補修することで外壁を長持ちさせ、建物を守ります。



メンテナンススケジュールは目安であり、メンテナンス時期を保証するものではありません。地域や環境により表面劣化の進行が異なります。メンテナンス時期は、本体平面部について適用するものであり、加工部、端部及び付属品は除きます。

※2 2回目以降の塗り替え時期は塗料タイプにより異なります。使用される環境、耐用年数などを検討の上、専門業者とご相談ください。

※3 張り替え時期については、専門業者に建物全体の躯体状況を確認の上、総合的に判断してください。

注意事項

- ◎お施主様ご自身で高所作業を伴う点検やお手入れは絶対に行わないでください。落下事故やけがの原因となります。
- ◎点検は目視で確認できる範囲にとどめてください。高所作業の場合は、専門業者に相談してください。
- ◎点検、補修、洗浄の際は、パネル表面にキズが付かないよう十分に注意してください。特に、はしごなどをパネル表面に直接立て掛けると、キズや変形の原因となりますので、必ず当て板などで保護してください。
- ◎雨などで濡れた屋根の上には絶対に乗らないでください。
- ◎洗剤を使用しての洗浄の際は、周辺の生物に影響がないよう十分に注意してください。